

地域密着型サービス自己評価票

- 指定小規模多機能型居宅介護
(指定介護予防小規模多機能型居宅介護)
- 指定認知症対応型共同生活介護
(指定介護予防認知症対応型共同生活介護)

(よりよい事業所を目指して・・・)

記入年月日	平成20年 2月11日
事業所名	グループホーム水草
事業所番号	2370301026
記入者名	職名 介護職員 氏名 余語 秀隆
連絡先電話番号	052-917-5115

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>事業所の基本理念に沿った取り組みを行なっているが、理念自体は独自性には欠けている。</p>	<p>既存の理念を掘り下げて見直し、現在、独自の理念を練り直す思案中である。</p>
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>管理者・職員共に既存の理念に沿った取り組みは行なえているが、理念に何か物足りなさを感じている。</p>	<p>既存の理念を練り直す様、管理者・職員各自が思案している最中である。</p>
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>ご家族には入所時にご説明させていただき、地域の方々には運営推進会議等でお話しをさせていただいている。</p>	
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>事業所の真裏にスーパーがあり、ほぼ毎日利用をしているので、管理者・職員および入居者の方々も、スーパーで会う方々と顔馴染みになり、挨拶を交わしている。</p>	
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>地元自治会の年間行事スケジュール表をいただき、入居者の方々が参加できそうな行事があれば足を運んでいる。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	今のところ地域の方々にまで眼は向けておらず、取り組んでいる事柄もない。	○	自治会の行事などにスタッフがお手伝いとして参加し、暮らし役立つ事が何かないかを探る。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	実施の意義は理解しているが、評価後時間が経つにつれ、改善点などを忘れ評価を活かしきれていない。	○	自己評価・外部評価票を定期的に戻す習慣をつけ、内容を忘れず、常に改善に取り組んでいく。
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	管理者より参加された方々へ報告しているが、話し合いをしたり意見をされる方は少ないとの事。	○	今後も会議を重ね、参加される方々ともより親睦を深め、雰囲気作りにも努め、徐々にも意見を出していただきたい。
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	業務上の必要な時のみの関わりである。	○	市の職員が必要のない時でも、ふらっと事業所に立ち寄っていただけたらと思う。
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	職員は順次、学ぶ機会を設けている。成年後見制度については、昨年是一件、活用できるよう支援を行った。		
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	日頃から職員の精神面・体調面などの把握に努め、ストレス等が生じない様、職員間で助け合い、虐待などが起こらない環境を作っている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>運営者・管理者が十分な説明の上、理解・納得を得ている。</p>	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>管理者は毎日各フロアを回り、利用者のご様子を伺っている。職員は入浴介助中や個別ケアで喫茶店に行った時など、利用者が話しやすい環境でお話しを伺う様にしている。表現はケアに反映させている。</p>	<p>○</p> <p>利用者から話しを伺う事は多いのですが、苦情は特に聞かれないので、より遠慮されることなく何でも話せる関係と環境作りに努めていきたい。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月定期便にて、担当者が各ご家族へ報告をしている。</p>	
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご家族の面会時などに、管理者ならびにケアマネと面談される機会が多く設けていると思う。</p>	
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>運営者・管理者参加の元、フロアリーダー会議と職員懇談会を、毎月一回実施し反映している。</p>	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>小さな子供がいるなど、家庭の事情がある一部の職員以外は、皆、勤務の調整にも協力的で助かっている。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>離職に関しては本人の意思なのでやむを得ないものがある。異動については極力行なわない様な方針ではあるが、行なう場合には人選に非常に考慮し行なっている。</p>		
5.人材の育成と支援				
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修機会は多く確保されているが、参加者が偏っている。</p>	○	<p>新人職員やキャリアの浅い職員に対しても、積極的に研修への参加を促していく。</p>
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>運営者は管理者や各職員個々に、自発的なネットワーク作りに期待している様に思われる。</p>	○	<p>運営者同士が定期的に気軽に集まる会合など、どなたかが発起人となり開催されたら良いと思う。</p>
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>月に一度の懇談会や意見箱などで、日頃の職員の思いを聞き返答している。</p>		
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>皆の話に耳を傾け、状況などしっかり把握されていると思う。向上心を持って働ける様ハード面などの充実も図っている。</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>認知症の方の場合、自身の訴えを表現することが困難な方も多いため、じっくり時間をとり、様子を伺いながら傾聴に努めている。</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>充分お話しを伺う機会を作り、ご家族等納得の上、利用を開始していただいている。</p>	
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご本人、ご家族双方からお話を伺い、偏らず客観的に必要な支援内容を分析している。</p>	
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>当然、いきなり知らないところに来れば、どなたにも不安・混乱などが生じるものと職員一同感じているので、充分ご本人に配慮した雰囲気作りや対応に注意をしている。</p>	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>頭ではいつも一緒に支えあい、過ごしたいと思っ てはいるが、業務の流れが優先され、あまり余裕 を持って関わっていない。</p>	<p>毎日、お一人おひとりとゆっくり落ち着いて関 わっていただける様、職員が互いに助け合い、心と時 間に余裕を持ちたい。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会時などには必ずご家族へ声掛けをし、近況を報告したりお話を伺ったりして交流を図っている。		
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	昨年秋頃からは、ご家族にセンター方式家族版への記入もお願いし、協力して頂いている。その中から得る情報も非常に参考にしている。		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご依頼があった場合、お電話をしたりスタッフと一緒に外出するなど、ご本人が満足していただける対応をしている。		ご依頼がなくても職員側から働きかけ、外出にお誘いする機会を増やしていきたい。
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	居室で長く過ごされる方には、お部屋を訪問しお話しをしたり、他の利用者の方々と一緒に買い物へ出掛けたりしている。		
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	契約が終了しても義理や思いを忘れず、付き合いを大切にしている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>ご本人の希望や意向など、カンファレンスなどの時に職員間で把握の確認も行なっている。</p>	
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>ご本人に伺っても曖昧なことも多いので、センター方式家族版を活用し、ご家族からの情報も得るようにしている。</p>	
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>当事業所では毎日、日勤のリーダーを職員が交代で務めている。そのリーダーが代表して一人ひとりの一日を、看介護記録・日報等に記入している。</p>	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>ご本人・ご家族・医療関係者・職員と話し合い、ご本人が満足していただける介護計画を作成しているつもりである。</p>	
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画の期間中、長くても1ヶ月に一度は評価を行なっている。現状に即した変更も出来ている。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別の看介護記録ならびに職員連絡帳に記入し、読み落としの無い様、情報を共有している。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>ご本人・ご家族はお客様なので、こちらが要望に応えるのは当然だと思っている。</p>		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	<p>地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>民生委員・警察などは馴染みではありませんが、ボランティアで慰問される方は多い(演奏会・落語など)</p>		
41	<p>他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>必要時には事業所のケアマネが、速やかに支援活動を行なっている。</p>		
42	<p>地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>今のところ協議して行なう事が特にない。</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>ご本人はもちろんの事、ご家族とも密に連絡を取り、医療機関との連携も滞りなく行なっている。</p>		
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>月に2回の往診時などに、Dr・Nsへの相談やアドバイスを受けている。</p>		<p>勤務時間外に専門医などを招いた勉強会を、定期的で開催していきたい。</p>
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>日常的に気軽に相談し、支援に向けたアドバイスを頂いている。</p>		
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>こちらから情報提供はしますが、病院側からはご家族を通じてでない情報が入らない事も多く、対応が多少遅れる場合もある。</p>		
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>事業所としては出来るだけ早い段階から話し合いたいのだが、現実を直視しないと実感として受け止められないご家族もおみえになり、話が頓挫してしまう。</p>		
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>事業所でここまではできるという線引きが決まっているので、変化に備えた準備は早い。</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>惜しみなく十分な話し合いと情報提供を行なっている。</p>		
<p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1.その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>				
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>プライバシー確保に関しては、最新の注意を払い取り組んでいる。</p>		
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>自己決定を重んじ支援をしているが、お一人おひとりに時間をかけ、ゆっくりと納得していただいている余裕がない。</p>		<p>心と時間に余裕を持って、お一人おひとりとじっくり向き合って支援をしなければならない。</p>
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>希望に沿った支援を行っているが、夜間、職員が1名のときなど利用者の方の援助が重なる場合には、個々のペースを崩してしまうことがある。</p>		<p>今後、重度化に向け夜間帯での職員の2名体制なども検討する。</p>
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>				
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>毎朝ご自身で洋服を選んでいただき、お化粧品も納得されないと、日に2～3回していただいている。理容・美容は2ヶ月に一度の訪問で納得されている。</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事はいつも職員と一緒に摂り、利用者はそれぞれの力に適した準備や後片付けをされている。		
55	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	お体の状況により量的な制限のある方もいらっしゃいますが、ご自由に嗜好品を楽しんでいただいている。		
56	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	各職員は各利用者の排泄パターンを把握しており、適時促しのお声掛けや誘導を行なっている。		
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日の間隔など、利用者それぞれにある程度は決まっているが、排便が続いたときなどは、状況に合わせて時間も問わず、毎日入浴していただいている。		
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	傾眠が強い方は日中でも臥床していただいたり、不安で眠れない方がいらした時には、夜間、職員が安心して休んでいただくまで傾聴する様に努めている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活歴などを参考にして、利用者の方々それぞれの役割・お手伝いなどを行なっていただいている。	○	加齢に伴い体力や意欲減退が生じ、「何もやりたくない」と拒否される方に、いかにして楽しみながら張りのある生活の維持を保っていただくか、職員も工夫をする。


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に 応じて、お金を所持したり使えるように支 援している	お財布を持っていらっしゃる方は一部の方のみで あるが、その方達にご自由にお菓子や嗜好品を購 入される。		
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひと りのその日の希望にそって、戸外に出かけ られるよう支援している	希望される方はほぼ毎日外出され、そうでない方 も定期的に全員で、午後のおやつを近所で外食す るようにしている。		
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けな いところに、個別あるいは他の利用者や家 族とともに出かけられる機会をつくり、支 援している	年中の大きな行事（花見・秋の遠足）には皆様一 緒にお出かけしますが、個別および遠出の外出は 少ない。	○	外出レクをもっと多く企画し、レク当日は出勤職 員を増員するなど職員が協力をしあい、外出の機 会を職員が積極的に作り出していかねばと思 う。
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をし たり、手紙のやり取りができるように支援を している	ご希望があった場合、それらの支援は必ず行っ ている。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの 人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地 よく過ごせるよう工夫している	面会があった場合、お茶やお菓子をお出しし、居 室でゆっくりとリラックスして過ごしていただ ける様、職員は深く立ち入らず、離れ過ぎず対応 をしている。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指 定基準における禁止の対象となる具体的な 行為」を正しく理解しており、身体拘束を しないケアに取り組んでいる	身体拘束については、昨年コンサルタントの先生 から、運営者・職員共に教えていただいた。現 実、身体拘束する必要も行なった事もない。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	私のフロアーでは、居室・玄関共に日中でも施錠しています。誤って他の居室へ頻回に入られトラブルになりました。また、お一人で帰ることが困難な方が外出してしまった場合を考えると、個人的には鍵をかけない事が一概に良いとは思えない。		以前、事業所の1階に不審者が入り怖い思いをしたり、家にも日中も物騒な事件が多いご時世、施錠している家庭も多いので、御家族から特に苦情等伺ったことはない。
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	安全に配慮した様子の把握などを行なっているが、夜間帯、職員が一人になった後は、一人の方の介助に付きっきりになる時は、他の利用者の所在確認が困難である。		利用者の生活リズムに合わせた支援に努めつつ、他の利用者の所在や様子確認との兼ね合いに、上手く対応した援助に努めていきたい。
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	注意の必要な物品は、一人ひとりの状態と関係なく、危険は取り除いている。		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	転倒・窒息・誤嚥などの危険性が高い方々には、見守りや介助にて細心の注意を払い、事故防止に取り組む教育・姿勢を学んだ。		
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	研修等で訓練は経験しているが、定期的には行っていない。		消防署などにも依頼・連携し協力を得て、定期的に全職員の訓練を行なっていきたい。
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害時の避難経路の確認と、戸外の避難場所、地域の人々の協力依頼は、運営推進会議時などにお願い申し上げた。		新しい職員など、避難場所など曖昧な者も居るかも知れない。全職員で避難訓練・避難場所の確認も、定期的に行っていかなければならない。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	ヒヤリとする様な事があった場合、できるだけ早めにご家族に報告をし、現行の状態を把握していただくようにしている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	看介護記録・申し送りノートに記入。および口頭での申し送り・ミーティング時などで情報の共有を確認し、対応に結び付けている。		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	用法・用量は把握しているが、目的や副作用まで全職員が理解しているかは疑問である。		職員一人ひとりが薬の説明を良く読み、薬の名前・目的及び副作用等までしっかりと把握し、薬の変更や追加があった場合には、その都度すぐに確認を行い理解していきたい。
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘の方は大変多いので、日頃からそれぞれの方のパターン・リズムに合わせたコントロール方法や工夫を行なっている。		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	歯磨きができない方、うがいができない方には緑茶などで洗浄していただいている。また、歯科医の往診による定期的な口腔内のチェックも開始した。		
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	カロリーの計算は行なっていませんが、バランスはしっかり考え、食べられる量は一人ひとり把握しており、水分量に関しては、朝から摂取量を記録し、一日を通して確保できる様支援できている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	ノロウイルス等は衛生管理をしっかり行ない、インフルエンザは予防接種を毎年全員実施している。肝炎やMRSAなど、医療に関わる件は、往診時、定期的に検査を行なっている。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食事は職員が作っているの、自己責任のある身、職員全員しっかり管理に努めている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	お客様が楽に出入りできる様、職員は玄関前の駐車場に車を置かず、広くスペースを空けている。玄関前は穏やかに傾斜しているの、一定の間隔でプランターを置き、車椅子の方などの事故防止にしている。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有の空間内、特に不快な音や光が生じる事はありません。生活感を持って過ごしていただくため、玄関先や食堂などに、季節ごとに適したディスプレイを飾っている。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂の席も一人ひとりの希望された席で固定し、仲の良い方同士、お隣同士で会話を楽しまれている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	入所時、使い慣れた家具を持ち込まれる方も多く いらっしゃいます。備え付けの家具などは、ご希 望があれば撤去させていただき、配置もお好み通 りにされています。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	余寒厳しい折ですが、空気の入替えも適時行な い、加湿器を使用し、暖房もあまり高く設定せ ず、厚着をいただいている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	声掛けや見守り、または一部の介助で安全を図 り、過剰すぎる介助は行なわない様に心掛けている。		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	戸惑いや混乱が生じる方には、声掛けや見守り、 または共同で作業をするなどして支援を行なっ ている。		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	植物を置き、盆栽が趣味だった方などは、毎日ご 自身の役割として、手入れ・お世話をされてい る。		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

3ユニットのグループホームとして開所し4年7ヶ月経ちますが、ほぼ随時、満床である。